よくある質問

A .各素材のお手入れ方法

木部や布・革などの素材別に、お手入れ方法をまとめました。

B .各アイテムのお手入れ方法・使用上の注意

ダイニングチェアやテーブルなどアイテム別に、お手入れ方法と使用上の注意をまとめました。

C .各部品の取付け・取扱い方法など

1 .引出しの取外し・取付け方法

スライドレールやストッパーが付いた引出しの取外しと取付け方法をまとめました。

2 .市販の耐震ラッチの選び方

市販されている耐震ラッチの選び方をまとめました。

3 .脚ジョイント金具について

天板裏に脚ジョイント金具がついたテーブルの組立て方法を説明します。

2012年 6月 28日　株式会社 マルニ木工

A .各素材のお手入れ方法

木部や布・革などの素材別に、お手入れ方法をまとめました。

① 木部

日常のお手入れ方法は？

塗装面のホコリは、柔らかい布で乾拭きか、ピアノ用のハタキなどで軽く払い取ってください。角は塗装がはがれやすいため、こすりすぎにご注意ください。

汚れた時は？

〇ウレタン塗装製品

目立つ汚れが塗装面につきはじめたら、石鹸水を染み込ませて固くしぼった布で、汚れが落ちるまで拭き取ってください。

〇オイル塗装製品

専用のメンテナンスキットを使うことで、小さなキズや汚れなどは簡単に補修でき、使い込むほどにでる味わいをお楽しみいただけます

240番くらいのサンドペーパーで木目に沿わせて磨き、表面の汚れを落とします。

塗料を白い布に染み込ませ、磨いた部分に薄く塗布します。（白い布には使い古したTシャツ、タオル等が好ましいでしょう）均一な仕上がりになるよう心掛け、均等に軽く塗ります。色が濃くなってしまった場合、乾いた布ですぐに拭き取れば薄くなります。塗料を塗り終えたら、24時間の自然乾燥が必要です。

最低2回を目安に補色を行うと良いでしょう。

長持ちの秘訣

1. 急激な温度変化や、高低度の著しい場所（例：－10℃以下）、直接高熱の伝わる暖房器具などの近く、また、直射日光の当る所などには置かないでください。木材の接着ハガレ、干ワレの発生、色あせ、黄変の原因となります。
2. つや消しの製品にワックスや化学ぞうきん、また消しゴムなどの使用は避けてください。
3. 木部に直接熱いヤカンなどを置かないでください。また、水滴の付いたグラスなどを長時間放置すると輪ジミの原因になりますのでご注意ください。

② 布張地

日常のお手入れ方法は？

日常のお手入れは掃除機で織り目や隙間に入ったほこりを吸い取ってください。ブラシを掛けながら表面を軽く叩いたり、ファブリックの毛並みに沿って軽くブラッシングをしてください。

汚れた時は？

中性洗剤を3～5%位にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸して軽く絞り、表面をたたくようにして拭き取ってください。その後、水拭きをしてから自然乾燥させてください。尚、ぬるま湯や中性洗剤を使用する場合は目立たない箇所でテストをしてから実施してください。

毛足のあるパイプ織りはパイルが起きないことがありますので、ご了承ください。

カバーリング対象商品はカバーの洗濯表示ラベルに従ってクリーニングしてください。（縮みや色落ち、素材感が変わる恐れがあります。）

〇口紅やマジックの汚れ

汚れ落とし用のベンジンやアルコールで部分取りをしたあと、中性洗剤を3～5%位にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸して軽く絞り、表面をたたくようにして拭き取ってください。マニキュアは、シンナーまたは除光液で拭き取り、上記の同じ手順で汚れを落としてください。（完全に取れない場合もあります。）

長持ちの秘訣

1. 直射日光のあたる場所には設置しないでください。
2. 汚れた場合は、早目にお手入れしてください。
3. 手垢や汗による汚れは、特に布地を劣化させやすく色落ちや破れの原因になります。肌が直接触れる部分（肘や座面前、背もたれなど）は、日常のお手入れを心がけてください。
4. カバーリング非対応のソファでは、専用の肘カバーの使用をおすすめします。
（※一部の商品には、専用肘カバーは対応しておりません。）

③ 革張地

日常のお手入れ方法は？

柔らかな乾いた布で表面を軽く拭いてください。（化学ぞうきんなどは使用しないでください）
湿度の高い時期や乾燥期には月に数度、ぬるま湯に浸した布を固く絞ってかる く拭いてください。その後、乾拭きをし、風通しを良くして乾燥させてください。

汚れた時は？

毛穴に汚れが染み込まないうちに早く拭き取ることが大切です。
ぬるま湯に浸した布を固く絞って、たたく（汚れを浮かす）ように拭いてください。落ちない場合は、家具専用レザークリーナーで磨きます。（クリーナーは直接革に吹きつけずに、柔らかい布につけてください）
汚れのひどい時は中性洗剤を 3～5%位にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸して固く絞り、汚れを拭き取ってください。尚、ぬるま湯やクリーナー、中性洗剤を使用する場合は、目立たない箇所でテストをしてから実施してください。

〇水溶性の汚れ

インキ、コーヒー、ビール、ウイスキーなどは水で湿らせた柔らかい布で丁寧に拭いてください。

〇塩分の汚れ

味噌汁など塩分の多い液体は、後で塩の結晶が吹き出ることがあるため念入りに拭いてください。

〇油性の汚れ

サラダオイルなどをこぼした場合は、中性洗剤を 3～5%位にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸して固く絞り、丁寧に拭き取ってください。乾燥したら皮革用液体クリームを塗ってください。

〇ボールペンの汚れ

ボールペン、クレヨンなどの汚れは、柔らかい消しゴムで軽くこすってください。強くこすると、塗装面がはがれる場合があるのでご注意ください。

長持ちの秘訣

1. 直射日光のあたる部屋はカーテンをかけてください。
2. 日常のお手入れを正しく行なってください。
3. 靴用クリーム・溶剤（シンナー・ベンジンなど）、車・床用ワックスは使用しないでください。
4. エアコン・ファンヒーターの吹き出し口の前に設置しないでください。
5. 籐製などの硬いクッションやカバーは使用しないでください。
6. 化粧品・整髪料の汚れは早めに除去してください。変退色の原因になります。
   （ただし、マニキュアの汚れは取れません。）
7. 汚れは早めの処置が大切です。
8. ぬるま湯などで手入れした場合は、風通しを良くし、自然乾燥してください。
9. 塩素系洗剤は使わないでください。
10. ビニール製品などを長時間重ねたままにすると、変色の原因になりますので、注意してください。

④ 合成皮革

日常のお手入れ方法は？

掃除機で隙間に入ったほこりを吸い取ってください。表面にホコリ等が付いた場合は、柔らかい布で拭き取ってください。硬い布あるいはブラシでの掃除は、表面を傷つける恐れがありますのでおやめください。

（※化学ぞうきんなどは使用しないでください。）

汚れた時は？

汚れが付着した場合、時間が経つに従って変色したり、汚れが落ちにくくなるので、出来るだけ早く汚れを落とすことがポイントです。

汚れによっては、汚れが取れずシミや汚れの広がる可能性がありますので、必ず目立たない所でテストしてから実施してください。 シンナー類で汚れを落とすと、変色・変質・破損を起こす可能性がありますので、使用しないでください。

〇水溶性の汚れ

コーヒー、ジュース、酒類、調味料などは、水またはぬるま湯を柔らかい布等に含ませて拭き取ってください。それでも落ちないときは、油性の汚れと同じ手順で、汚れを落としてください。

〇油性の汚れ

バター、サラダ油、マヨネーズ、ケチャップなどの食品類、口紅、ファンデーション、整髪料などの化粧品類、サインペンなどの筆記用具類の汚れは、中性洗剤を3～5%位にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸して軽く絞り、表面をたたくようにして拭き取ってください。

その後、水で浸した柔らかい布で洗剤分を拭き取り自然乾燥させてください。

長持ちの秘訣

1. 湿度の高い場所での使用や、水に濡れたままの状態で放置しないでください。カビや汚れ、ひび割れが生じる原因となります。
2. アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤をこぼすと、変色、変質、破損を起こす可能性がありますので、使用しないでください。
3. 日光が直接長時間当たるような場所、また直接高熱が伝わるストーブの側などに置いた場合、変色や劣化の原因となりますのでご注意ください。

⑤ 籐

日常のお手入れ方法は？

雨季では空気中の水分による伸縮が激しいため、湿度の高い時期は伸びてたるむ感じが出ます。その際に局部的な力を加えますと伸びて戻らないことがありますので、ご注意下さい。なるべく、常に通気性の良い場所にてご使用ください。

乾期では逆にいっぱいに縮み、極度な荷重をかけると、「ミシミシ」と音がします。このときは極端な荷重をかけると籐切れの原因になりますので、ぬれタオルなどで加湿してください。籐が新しい場合ヒゲのようなものが体を刺すことがありますが、そのときは柔らかい布で表面を軽く拭いて、爪切りのようなものでカットしてください。

⑥ プラスチック・金属部

日常のお手入れ方法は？

取っ手や蝶番など、金属類の表面には、サビや変色を防ぐための塗装を施しています。日常は柔らかい布で軽く乾拭きしてください。月に一度は乾いた布で拭くと良いでしょう。

汚れた時は？

汚れた場合は、中性洗剤を 3～5%位にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸して固く絞り、汚れを拭き取ってください。その後よく水拭きしてから、乾拭きしてください。金属部には、さらに潤滑油を薄く塗って、そのあと柔らかい布で軽く拭き取ってください。半年に一回程度、扉の蝶番金具の可動部に少量の潤滑油を差しておくと、スムーズな動きが保てます。

⑦ ガラス

日常のお手入れ方法は？

ガラスクリーナーの使用は出来ますが、木部にクリーナーをかけないようにすることが大切です。塗装面の艶、色が変わることがあります。布にクリーナーをつけてガラスを拭くのがよい方法です。

⑧ 人工大理石

汚れた時は？

日常の汚れや水アカなどは水拭き、またはキッチン用洗剤を浸した布で拭くだけで十分きれいになります。しつこい汚れは、クリームクレンザー＋スポンジまたはたわし（研磨粒子付）で弧を描くように磨いてください。その後、柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

長持ちの秘訣

1. ソコフ（ロゲ落し洗剤）や塩化メチレンのような溶剤を含む塗料剥離剤は絶対に使用しないで下さい。これらの洗剤類はデュポン コーリアンを含むほとんど全ての人工大理石製品やプラスチック製品の表面状態を荒らし、傷つけることが確認されています。
2. コーリアン天板と木部のメンテナンス方法は異なります。上記はコーリアン部分のみのメンテナンス方法ですので、テーブルの木部にはクリームクレンザーやナイロンタワシは使用しないで下さい。
3. 天板表面の艶については、ご使用頂くうちに微妙な艶の違いが生じてきます。上記メンテナンスを行っても微妙な艶の違いは残りますので、あらかじめご了承ください。

B .各アイテムのお手入れ方法・使用上の注意

ダイニングチェア、テーブルなどアイテム別に、お手入れ方法と使用上の注意をまとめました。

① ダイニングチェア、リビングチェア

日常のお手入れ方法は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

こんな時は？

〇汚れた時は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

使用上の注意

1. 移動の際など、家具を引きずることにより床にキズがつく場合があります。家具の脚の裏に、緩衝材として市販のキズ防止フェルトのご利用おすすめします。
2. 踏み台用としては設計されていませんので、椅子を踏み台代わりにするなど、座る目的以外では使用しないでください。転倒し、ケガや破損の原因になります。
3. 椅子の上に立ったり、飛び跳ねたりしないでください。
4. 座った状態で、椅子を傾けないでください。
5. 肘部や背もたれの上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。
6. 回転機能が付いた椅子は、椅子の中央に腰掛けてください。不安定な姿勢で座ると、転倒や金具の破損の原因になります。
7. 素肌では座らないでください。特に、濡れた身体で座ると、張地の劣化を早め、カビや汚れが生じる原因になります。
8. 籐は天然素材のため、ケバ・ささくれなどが起こることがあります。そのまま使用されますとケガや衣服を傷めることがありますのでご注意ください。
9. 麻・綿等の天然素材を使用した布地は、汗や湿気により、色移りする場合がありますのでご注意ください。
10. ドライクリーニングされる場合は、クリーニング可能な商品かよくご確認の上、必ず専門業者にご依頼ください。また縮みの原因になりますのでタンブラー乾燥はしないでください。

② **ダイニングテーブル、リビングテーブル**

日常のお手入れ方法は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

こんな時は？

〇汚れた時は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

〇マジックやインクのシミは落ちるか？

ウレタン塗装の場合は、アルコールまたはシンナーを乾いた布につけて拭き取ってから、固く絞った蒸しタオルで拭き取ってください。

マニキュアの汚れは、除去できません。

〇時々塗装面に白い輪形などのついたものを見かけますが原因は？

容器の底が水に濡れたまま、長時間天板の上にのっていたことが原因です。日本酒など醸造酒をこぼしたまま長時間放置した場合でも、白くなることがありますので注意してください。

〇天板を傷つけない様にガラスを載せたい

天板を傷つけたくない場合は、ビニールマット等を利用してください。

月に1～2 度は取りはずし、それぞれの表面を乾拭きして1～2 時間乾燥させてください。

使用上の注意

1. 長くお使い頂くためには、食事のときなどテーブルクロス等の敷物のご利用おすすめします。
2. 天板の上に、熱い物や底のザラついた物を直接置くと、塗装面の変色やキズの原因になりますのでご注意ください。また、ビニールやガラスを長時間、直に載せておくのも塗膜や木部によくありません。傷がついた天板の、傷の部分は修理できません。
3. 天板の上に立ち上がったり、腰掛けたりしないでください。ケガや破損の原因になります。
4. 伸張式天板や金具など、可動部のすき間に手や指を入れないでください。
5. 引き出しを引き出した状態で、上から押さえたり、重いものを載せたりしないでください。転倒や破損の原因になります。
6. 欠けたり、キズの入ったガラスは強度が低下し、破損したりケガをする恐れがあります。販売店までご相談ください。

③ TVボード、リビングボード 食器棚

日常のお手入れ方法は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

こんな時は？

○汚れた時は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

○TVの転倒防止に耐震マット（ジェル）を使用したいが問題ないか

耐震マット（ジェル）の使用は、塗装面に異常が発生し、色・塗膜が剥がれる場合があります。環境条件や耐震マットの製造メーカーによっても異なりますが、耐震マット（ジェル）に含まれる特殊成分と天板の塗膜とが反応して 塗膜が溶解し、痕跡が残る可能性がありますのでご注意ください。

○ダイニングボードの臭いが気になる

中性洗剤を 3～5%位にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸して固く絞り、食器棚・引き出しの内面を拭きます。その後、ぬるま湯のみで洗剤を拭き取り、扉や引き出しを半開きにして風通しを良くし、1週間ぐらいそのままにしておくと、早く臭いが薄らぎます。

○引出しがきつくてスムーズに動かない

梅雨や雨の多い日が続いた場合には、引出し本体が水分を吸収して木が伸び、きつくなることがあります。そのときは、天気のよい日に風通しのよい日陰で風に当てると縮んで元にもどります。さらに引出し本体の側板側面と底面にローソクのろうを塗ると、すべりがよくなります。

完全に引き出せないときは、風通しのよい日陰で引出しの扉を開いて風を通すか、ドライヤーの冷風を引出し側面に当てると引き出せることがあります。その場合、引出しの側面より30cmぐらい離してください。

○引出しの奥に物が落ちて取り出せない→C-1. 引出しの取外し・取付け方法を参照ください。

○開き戸が前後にずれている場合の調節方法を教えて欲しい

固定ねじをゆるめて前後調整した後、しっかりと締め直してください。

○開き戸が左右にずれている場合の調整方法は？

固定ねじを締めたままで、調整ねじを回して左右調整してください。

○耐震ラッチを取り付けたい→C-2. 市販の耐震ラッチの選び方を参照ください。

使用上の注意

1. 家具の安全性を高めるため、収納物は、家具の下段に重い物を入れるようにしてください。
2. 家具の上（高所）には物を載せないでください。
3. 棚受具は確実に取り付け、棚板には均等に物を載せてください。
4. 扉などにぶら下がったり、引き出しに乗ったりしないでください。
5. フラップ扉やスライド棚に乗ったり、腰掛けたりしないでください。
6. 扉や引き出しを同時にいくつも開けて使用しないでください。重心が前方に片寄り、家具が転倒する恐れがあります。
7. 上置きの開き扉を開けたまま、下置きの引き出しなどを使用しないでください。頭をぶつける恐れがあります。

8. 扉の開閉には、扉が動く範囲に人がいないか、また、物が置かれていないか確認してください。
9. 引き出しをいっぱいに引き出すと落下しますので注意してください。
10. 可動部の金具などに手を触れたり、極端な力を加えたりしないでください。

設置上の注意

1. 直射日光のあたる場所はさけてください。
2. 必ず水平に設置してください。最初は扉、引き戸などスムーズに開閉できていても日がたつにつれて開閉しにくくなることがあります。その時は再度水平に設置してください。
3. 転倒防止チェーン付家具にはチェーンを取りつけ、上置下置分離式は上下連結をしてください。尚、箱物の台輪前面に板（5mm 厚以上）を敷いて前部を少し持ち上げると、さらに安全性が増します。
4. 新築の鉄筋コンクリート住宅の場合は、コンクリートが完全に乾く間（2 年から3 年）は家具を壁面から3cm から5cm 離して置いてください。

④ 小物家具

日常のお手入れ方法は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

こんな時は？

〇汚れた時は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

使用上の注意

1. 天板などには、不安定な物や重い物を載せないでください。
2. ワゴンを移動させる際は、倒れやすい物を取り除いてください。転倒し、ケガや破損の恐れがあります。
3. ポールスタンドに物を掛ける際は、倒れないように掛けてください。
   支柱やフック金具にぶら下がったり、無理な力を加えないでください。
4. 電子レンジや炊飯器など消費電力の大きい電化製品は、家具に付属のコンセントを使わずに、壁から直接電源をとってください。

⑤ ベッド、マットレス

日常のお手入れ方法は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

マットレスは、局部的な変形を防ぐため、年に3、4回程度、反転・逆転させてください。

こんな時は？

〇汚れた時は？→A. 各素材のお手入れ方法を参照ください。

使用上の注意

1. ベッドは、他の物とは離して風通しのよい場所に設置してください。
2. マットレスの上に立ったり、飛び跳ねたりしないでください。ケガや破損の原因になります。
3. マットレスは、無理に折り曲げないでください。

⑥ ラグ

日常のお手入れ方法は？

掃除機で毛並みにそって軽くお掃除してください。また、気持ちよくご使用いただくためにカーペットの下も時々お掃除してください。

湿気の多い所での使用はカビなどの発生原因となりますので、日常の通気と掃除に心掛けてください。年に一度は、外に持ち出しホコリをたたき出してください。

こんな時は？

○汚れた時は？

飲み物や食べ物をこぼした時は、素早く乾いたタオルで水分を取り除いてください。その際、表面はこすらず、軽く押さえ拭きをしてください。

カーペットシャンプー（または中性洗剤）を薄めたぬるま湯に雑巾をひたし、固く絞って拭いてください。汚れはこすらず表面を軽くたたくようにして落としてください。

使用上の注意

1. 長時間敷いたままにしないでください。塩化ビニールの床材の上でご使用になりますと、マット裏面のラテックス(ゴム)に色素が吸着し、床材が変色、または密着するおそれがあります。時々使用場所を変えたり、床面を拭いてください。
2. 洗濯機やコインランドリーでの丸洗いはおやめください。汚れのひどい場合は、カーペットクリーニング専門業者にご相談ください。
3. 置き敷きですので、ラグ自体が滑り転倒するおそれがあります。フローリングなど滑りやすい床でご使用いただく場合は、ラグの下に滑り止めシートを敷いてください。
4. 製品の性格上、若干の伸縮や反りが発生する場合があります。ご留意ください。
5. ラグの厚みによっては、ドアや収納扉・引出しなどの開閉の妨げになるおそれがあります。
6. 素材の性質上、繊維くずが遊び毛として表面に現れる場合があります。十分な掃除機がけを行ってください。
7. 長時間直射日光が当たる場所では変退色するおそれがありますので、カーテンやブラインドなどで日除けしてください。
8. 製品の製法上、無理に引っ張るとパイルが抜ける可能性があります。回転ブラシ付き掃除機の使用はおやめください。飛び出した場合は、はさみなどでカットしてください。
9. 濡れたものは置かないようにしてください。色が移染する場合があります。
10. 収納する際は、製品のホコリなどを取り除き、太めの芯管に表面を内にして巻いて、湿気の少ない暗い所に保管してください。
11. 床暖房の上で長時間敷いたままにしないでください。熱がこもり床材が変色するおそれがありますので、時々場所を変えたり床面を拭くなど定期的に通気を行ってください。

C .各部品の取付け・取扱い方法など

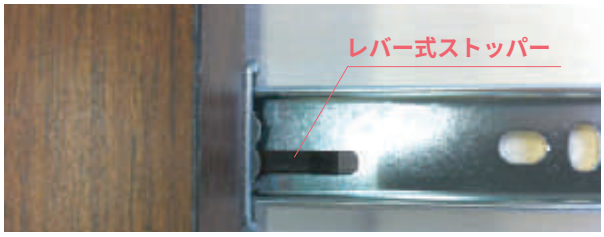
1 .引出しの取外し・取付け方法

スライドレールやストッパーが付いた引出しの取外しと取付け方法をまとめました。

A. レバー式スライドレール（２段引き・３段引き）

レールの特長

３段引きまたは２段引きのスライドレールです。スライドをいっぱいまで引き出すと、プラスチック製のレバー式ストッパーが付いています。

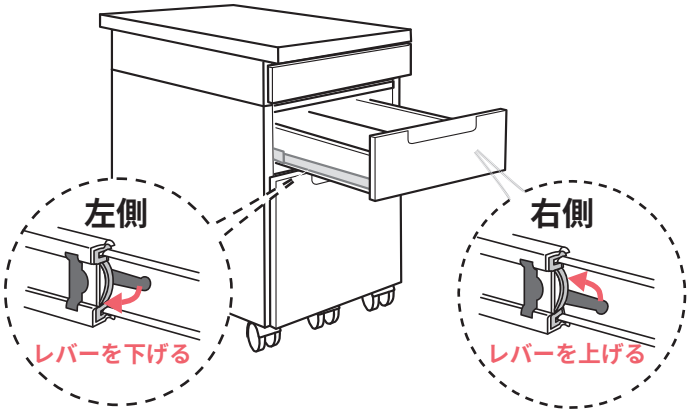


対象アイテム

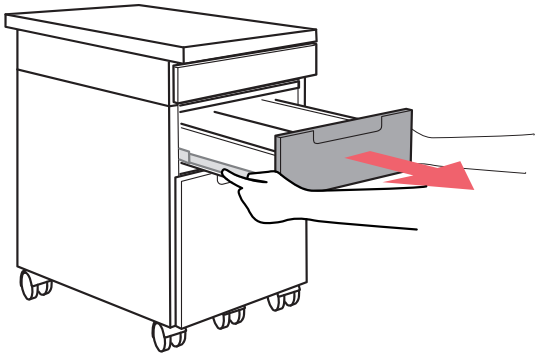
３段引き：ワゴン
２段引き：レンジ台のスライド棚など

取外し方

① スライドレールをいっぱいまで引き出し、レールの両側に付いたプラスチック製のストッパー（黒色）を、左側は下、右側は上に指で押してください。



② ①のストッパーを指で押さえたまま、引出しを手前に引き抜いてください。



取付け方

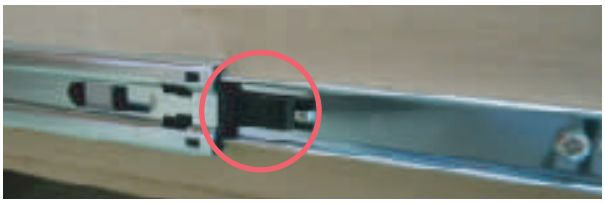
① 本体に付いているレールをいっぱいまで伸ばしてください。

② 伸ばした本体レールに、引出しに付いているレールを差し込むように付け、引出しがしっかりはまりこむように奥まで押してください。
※なかなか奥まで閉まらない場合は、引出しを押す→開けるを繰りかえし除々に閉めてください。

B.プッシュ式スライドレール

レールの特長

３段引きのスライドレールで、引出しの奥まで引き出すことが可能です。スライドをいっぱいまで引き出すと、スライド中央にプラスチック製のプッシュ式ストッパーが付いています。

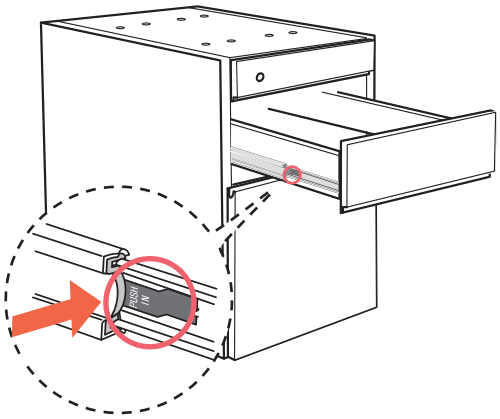


対象アイテム

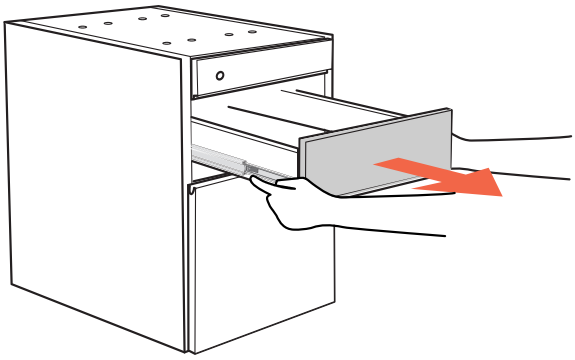
シアターボード、チェスト、ワゴンなど

取外し方

① スライドレールをいっぱいまで引き出し、レールの両側に付いたプラスチック製の平バネ (黒色)を指で押してください。



② ①の平バネを指で押したまま、引出しを手前に引き抜いてください。



取付け方

① 本体に付いているレールをいっぱいまで伸ばしてください。

② 伸ばした本体レールに、引出しに付いているレールを差し込むように付け、引出しがしっかりはまりこむように奥まで押してください。
※なかなか奥まで閉まらない場合は、引出しを押す→開けるを繰りかえし除々に閉めてください。

C. ソフトクローズ式スライドレール

レールの特長

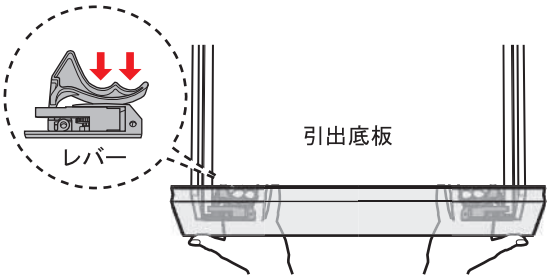
ソフトクローズ機能が付いたスライドレールです。引出底板の裏面には、レバー式のストッパーが付いています。

対象アイテム

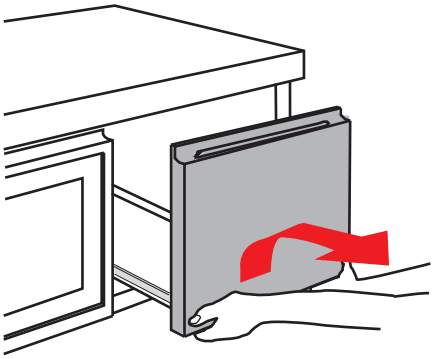
F-unitの引出し

取外し方

① 引出しの底板裏にあるプラスチック製のレバーを手前に押してください。

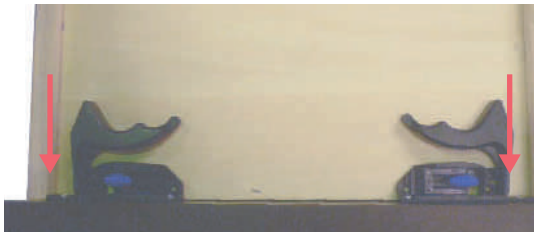


② レバーを押したまま、引出しを少し上に持ち上げながら引き抜いてください。



取付け方

① 本体に付いているレールをいっぱいまで伸ばし、引出し裏のレバー横の溝にレールをはめ込みます。



裏から見た図

② レールの先に付いている白いプラスチックと口板をカチっと音がするまでお互いに引き寄せてください。

横から見た図

③ 引出しがしっかりはまりこむように奥まで押してください。※なかなか奥まで閉まらない場合は、引出しを押す→開けるを繰りかえし除々に閉めてください。

D. ローラー式スライドレール

レールの特長

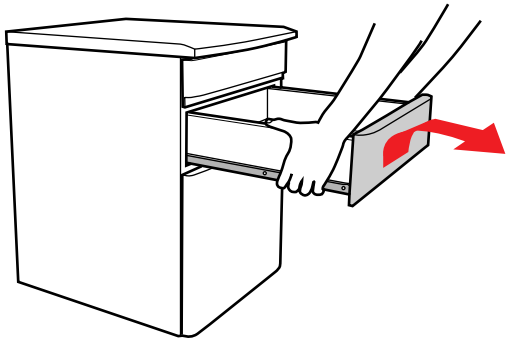
白いレールがついているスライドレールです。矢印の位置にローラーが付いています。

対象アイテム

ダイニングボード、チェストなど

取外し方

引出しが止まるまで引き出してください。中箱の側面をしっかり持ち、少し上に持ち上げながら引き抜いてください。



取付け方

取外す時の逆の手順で取付けてください。

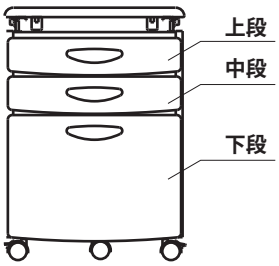
E. プラスチック製ストッパー

ストッパーの特長

ワゴン本体の前側の桟に、プラスチック製のストッパーが付いています。
※引出しを付けた状態では分かりません。

対象アイテム

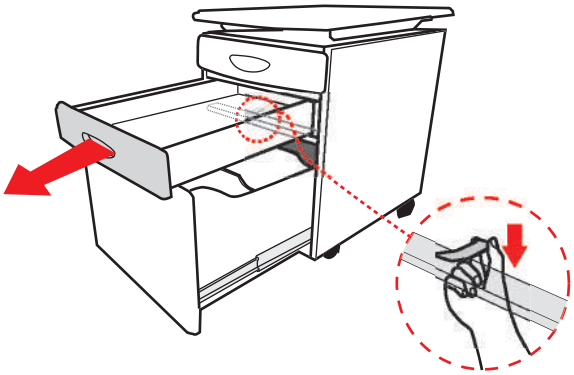
ワゴンの上段と中段



取外し方

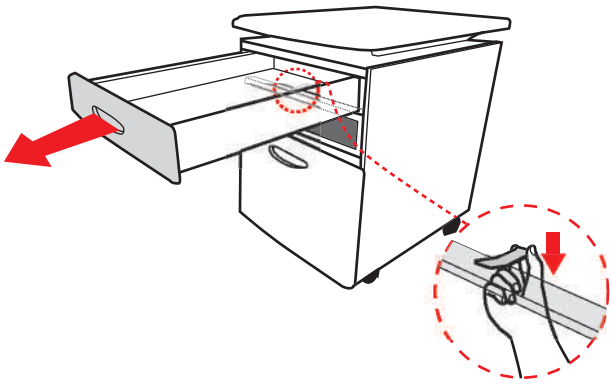
① 中段は、下段を半分ほど開けて作業します。

下段のサイドから手を入れて、中段下のストッパーを下げながら、もう一方の手で引出しを抜いてください。



② 上段は、中段を取外した状態で、作業します。

中段を入れる棚から、上段下のストッパーを下げながら、もう一方の手で引出しを抜いてください。



取付け方

引出しを本体に差し込むだけで、取付けることができます。

F. 棚ダボ式ストッパー

ストッパーの特長

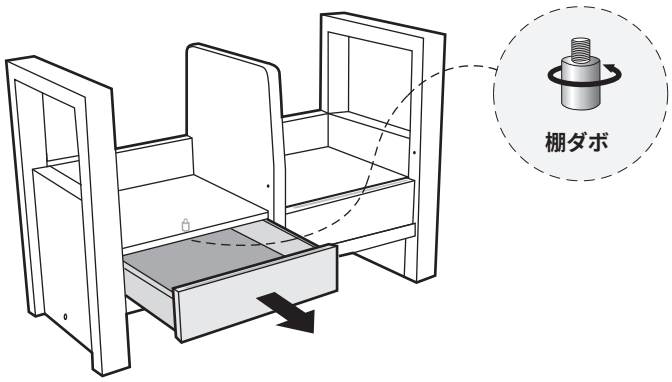
金属製の棚ダボ（棚板を固定するためのネジ式の部品）

対象アイテム

デスク上置きやデスクオープンラックなどに
ある小さい引出しが付いている商品。

取外し方

引出しを開け、天板裏についている棚ダボ式の引出しストッパーを、手で回して外してください。



取付け方

取外す時の逆の手順で取付けてください。

G. L型ストッパー

ストッパーの特長

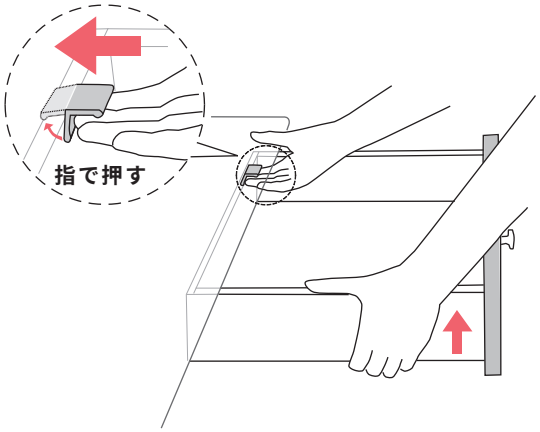
本体の天板・棚板裏に付いているプラスチック製のＬ型ストッパーです。

対象アイテム

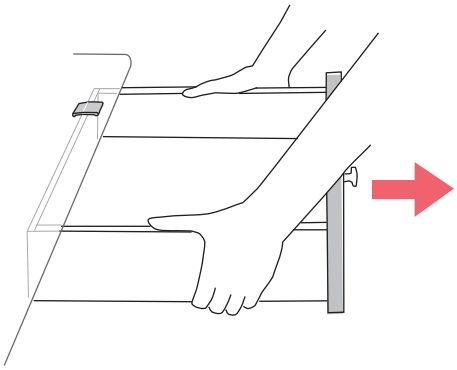
ボード類に付いている小引出しや、デスクの上置きなど。

取外し方

① 引出しを九分目まで引き出し、Ｌ型ストッパーを下図の矢印の方向へ指で押してください。ストッパーを押した状態で、片方の手で引き出しを少し引きストッパーを解除してください。



② 両手で引出しを持ち、引き抜いてください。



取付け方

引出しを本体に差し込むだけで、取付けることができます。

C .各部品の取付け・取扱い方法など

2 .市販の耐震ラッチの選び方

市販されている耐震ラッチの選び方をまとめました。

耐震ラッチについて

マルニ木工の商品で使用している耐震ラッチ

対象商品　　：F-unit
メーカー　　：ムラコシ精工
固定方法　　：タッピングネジ
取付け部条件：中天、天付敷が平らな製品

●震度４強～５弱で作動します。

市販の耐震ラッチ推奨商品

マルニ木工の商品によっては、取付けできないものもありますので、次ページの対応表で確認しください。
取付け方法は、お客様責任のもとで、各商品の取扱説明書に従って行ってください。

①パーフェクトロック　(マルニ木工の商品で使用している耐震ラッチの色違いです。)

メーカー　　：ムラコシ精工
固定方法　　：タッピングネジ
取付け部条件：中天、天付敷が平らな製品。
　　ただしネジの効き代の確認が必要です。
＜注意！＞
天板に段差 (戸当たり桟)があったり、扉が天板の下に入り込むタイプ、天板や扉にパッキンがついているタイプには取付けできません。

②震護くん (①パーフェクトロックと仕様形態は同じです。)

メーカー　　：イマオコーポレーション
固定方法　　：タッピングネジ
取付け部条件：中天、天付敷が平らな製品。
　　ただしネジの効き代の確認が必要です。
＜注意！＞
天板に段差 (戸当たり桟)があったり、扉が天板の下に入り込むタイプ、天板や扉にパッキンがついているタイプには取付けできません。

③震護くんプレート付

メーカー　　：イマオコーポレーション
固定方法　　：タッピングネジ
取付け部条件：段差 (戸当り桟や天付け敷き)がある家具にも取付け可能。但し、扉部の受け側の取り付け位置が下がるのでネジの効き代に注意が必要です。

2012.04.10

地中海シリーズ　市販の耐震ラッチ対応表

製品番号	画像	①パーフェクトロック	②震護くん	③震護くんプレート付
No.6009-01		×	×	×
No.6216-31 No.6216-41		○	○	○
No.6217-01 No.6218-01		×	×	○
No.6298-13 No.6299-13		×	×	○
No.6398-03 No.6400-02		○	○	○
No.6399-03 No.6401-03		○	○	○
No.6407-11		×	×	○
No.6408-11		×	×	○

地中海ロイヤルシリーズ　市販の耐震ラッチ対応表

製品番号	画像	①パーフェクトロック	②震護くん	③震護くんプレート付
No.6080-12		×	×	×
No.6317-02		○ ※但し、付属の取り付け用位置出しシールは使用不可。実測して位置決めすること。	○ ※但し、付属の取り付け用位置出しシールは使用不可。実測して位置決めすること。	○ ※但し、付属の取り付け用位置出しシールは使用不可。実測して位置決めすること。
No.6318-03 No.6319-03		×	×	×
No.6417-03 No.6417-13		×	×	○
No.6418-03 No.6420-03		○ ※但し、付属の取り付け用位置出しシールは使用不可。実測して位置決めすること。	○ ※但し、付属の取り付け用位置出しシールは使用不可。実測して位置決めすること。	○ ※但し、付属の取り付け用位置出しシールは使用不可。実測して位置決めすること。
No.6419-03 No.6421-03		○ ※但し、付属の取り付け用位置出しシールは使用不可。実測して位置決めすること。	○ ※但し、付属の取り付け用位置出しシールは使用不可。実測して位置決めすること。	○ ※但し、付属の取り付け用位置出しシールは使用不可。実測して位置決めすること。

マキシマムシリーズ　市販の耐震ラッチ対応表

製品番号	画像	①パーフェクトロック	②震護くん	③震護くんプレート付
No. 6389-83		○	○	○
No. 6306-81		×	×	○
No. 6630-81		×	×	○

グレースシリーズ　市販の耐震ラッチ対応表

製品番号	画像	①パーフェクトロック	②震護くん	③震護くんプレート付
No. 6040-31		×	×	○
No. 6296-33		×	×	○
No. 6329-21		×	×	○
No. 6435-21		×	×	○

C .各部品の取付け・取扱い方法など

3 .脚ジョイント金具について

天板裏に脚ジョイント金具がついたテーブルの組立て方法を説明します。

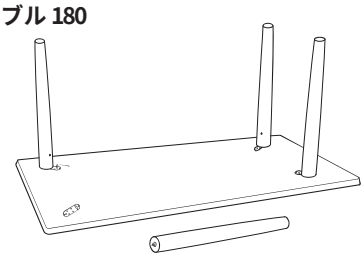
脚ジョイント金具について

金具の特長

テーブルの天板裏に埋め込まれた楕円型の金具です。
商品に添付されている六角レンチ (4㎜)を使い、天板と脚を取付けます。

対象アイテム

例：No.1955-35
HIROSHIMA テーブル 180



組立方法

1 部品表により、部品数の確認をして下さい。

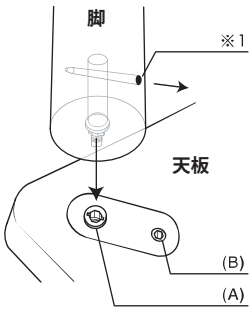
2 天板を、平らな場所に裏面を上にして置いて下さい。この際、天板に傷がつかない様に、何かやわらかい物をはさむかカーペットの上等が良いでしょう。

3 天板の４ヵ所の金具位置 (A)に、脚の金具を差し込みます。
※１ 脚のピン穴が、 No.1の矢印の向きになるように注意して下さい。
※２ No.2のように脚金具の凸部を天板側の金具の溝に差し込んで下さい。
※３ 脚と天板の取付けには、特殊な金具を使っています。脚を回してネジ穴に入れると、金具が破損する恐れがありますので絶対におやめ下さい。

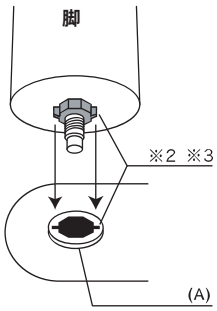
4 六角レンチで (B)をしっかりと締め付けて、固定して下さい。（No.3）
※４ 六角レンチ (イ)で締め付ける際には、天板と脚の取付面が常にNo.4の様に平行な状態で締め付け作業を行って下さい。

部 品 表	
部 品 名	数 量
天 板	1
脚	3 または 4
六角レンチ	1

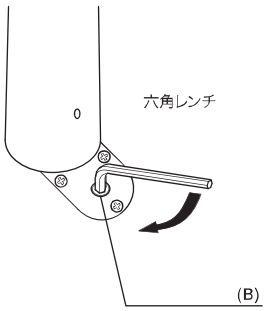
No.1



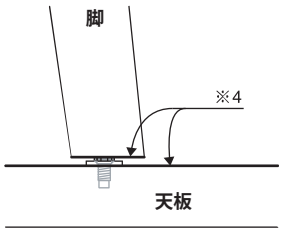
No.2



No.3



No.4



注意

1 角脚のテーブルは、脚の取付け位置が決まっています。金具と脚に丸シールが貼ってあるもの同士を組み合わせ、取付けて下さい。（No.5）

2 組立作業は必ず２人以上で行ってください。

3 テーブルの上には絶対に乗らないでください。破損の原因になります。

4 テーブルを使用中天板のゆれがある時は、六角レンチで増し締めをして下さい。

5 テーブルを起こす際は、片方の足に過度の荷重がかからないよう、脚を床から持ち上げてから、起こしてください。